

雲の上のまち



広報

くろべ



きりかぶ苗木園除幕式 林野庁長官 青山豊久氏来町

おかえりなさい青山さん 林野庁長官 青山豊久氏来町 <P2>

きりかぶ苗木園 開園 <P3>

第10回 龍馬脱藩マラソン大会開催 <P4・P5>

ひろめ市場にてゆすはらフェア開催 <P16>

11月号
2023
(令和5年)
No.785

●世帯数／1,719（9月末）
1,719（10月末）
●人 口／3,194（9月末）
3,193（10月末）
○出生… 1 ○死亡… 5
○転入等… 7 ○転出等… 4

おかえりなさい青山さん 林野庁長官 青山豊久氏来町

ナー制度の発案者でもあります。その頃は、農地の価値が薄れつ

つあつた時代ですが、神在居の棚田での田植えや稻刈り体験から、「都會の人々が求めているのはこれだ」とオーナー制度を提案されたのです。米は買う方が安い、田んぼをやるのは大変等、

農地の維持や管理の大変さを知っている人は「こんな田舎に田んぼをしに来る人はいない」と反対しましたが、いざ蓋を開



「きりかぶ苗木園」除幕式参加者の皆さん



「きりかぶ苗木園」除幕式での種植えの様子



「きりかぶ苗木園」除幕式での青山長官ご挨拶の様子

10月12日、青山豊久林野庁長官が本町の視察の為ご来町されました。

青山氏は、平成2年から2年間、林野庁から本町役場に出向いた
だいておりましたが、気さくな
お人柄で地域の人とも親しく交
流され、今回の来町でも当時交
流のあった方々が大勢集まり、
昔話に花を咲かせました。青山
氏と言えば神在居の千枚田オ一

野庁長官に就任された後も、青山氏は梼原を忘ることなく、今回当町にお越しいただいた際も、あの頃と変わらず接していました。

本町では、川上木材の伐倒現場、梼原町森林組合製材所の現地視察の後、ReMORIの役員をはじめとする林業関係者の皆様との意見交換が行われました。

また、この度KIRI Recub有限責任事業組合が「ゆすはら座」横の町有地においてスタートする、町産のどんぐりで苗木を育てる「きりかぶ苗木園」のオープニングイベントにもご臨席いただき、心温まるエールを送っていただきました。

青山長官からは、「脱炭素社会に向けてみれば全国から応募が殺到し、役場の電話は問合せでパンク状態に。これをきっかけに全国に棚田オーナー制度が広まりました。このことが農地の必要性を改めて見直す機会となり、中山間直接支払制度等の農地の支援へ繋がったといえます。国へ帰られてからも、時折お名前が新聞に掲載されるなど、ご活躍を拝見しておりましたが、林





左から、モア・トウリーズ水谷事務局長、KIRecub代表下村智也さん
ゆすはら地域おこし協力隊 長谷川夏輝さん

きりかぶ苗木園開園

私たちKIRecub・きりかぶは、地域おこし協力隊の活動外で昨年10月より任意団体として活動を始め、本年度4月より有限責任事業組合としてスタートしました。「人と自然との共生」という志をもとに、梼原町の造林・育林事業を生業としております。

この苗木園が出来た経緯は、広葉樹の苗は、スギ・ヒノキ苗に比べ、全国的に生産量が少なく、地域によっては県をまたいで苗木調達を行つており、梼原町においてもそれは同じ状況です。「地域の種(どんぐりなど)から育てた苗木(地域性苗木)」

を植栽したいという思いから、モア・トウリーズ様の多大なるご支援により、ここに苗木生産をスタートする運びとなりました。

そして苗木園の看板には、梼原町永野にあります河内白王神社の夫婦杉の折れた枝材を使用させていただき、屋根には伐採した杉を自分達で皮を剥がして張りました。

この苗木園において、梼原の地名の由来にもなったユスノキと一緒にどんぐりを拾つて育てる活動を行い、今年は2千本、5年以内に1万本まで苗木を育てていきたいと思っております。

今後、この苗木園が町内の皆さんに愛され、そして、町内の皆様と一緒に苗木を育て、成長を分かちあつていけるような場所になつて欲しいと考えております。まだまだ未熟者ではござります。まだまだ未熟者ではございます。まことに、精一杯努力してまいりたいと存じます。今後とも、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

KIRecub代表 下村 智也

特産品開発ワークショップ 開催について

梼原町の特産品開発を目的とし、株四万十ドラマ畠地履正氏を講師に今年度「特産品魅力化ワークショップ」(5回のうち1回は終了)を開催しています。「道の駅で新商品を販売したい」「ふるさと納税返礼品を開発したい」というみなさまの参加をお待ちしています。途中からの参加も大歓迎です。

ワークショップ開催スケジュール

- 第2回 11月21日(火) 13:30~15:30
会場: 梶原町役場(予定)
●梼原あるもの探し
- 第3回 12月18日(月) 13:30~15:30
会場: 梶原町役場(予定)
●商品のブラッシュアップ
- 第4回 1月22日(月) 13:30~15:30
会場: 梶原町役場(予定)
●商品のブラッシュアップ
- 第5回 2月26日(月) 13:30~15:30
会場: 梶原町役場(予定)
●成果発表会

千枚田を守る活動、 応援してください。

株式会社 クラウド440 TEL(0889)40-2088

過疎高齢化により、危機遺産になりつつある神在居の千枚田。

その保全活動に役立てるため、クラウドファンディングを行います。

様々な返礼品をご用意しておりますので、皆様のご支援をお願いします。

詳しくは以下のサイト、もしくは配布中のチラシをご覧ください。(12月上旬スタート予定)

検索

READYFOR

【広告】

まちづくり推進課
☎ 65-1111
【問合せ】

第10回龍馬脱藩マラソン大会開催（10月8日）

今回は、4年ぶりに制限なしの開催となり、前夜祭と中学生のボランティアも再開しました。

フルマラソンの部スタート



トップランナーのゴール! (10キロ)



龍馬脱藩マラソン大会は、梼原町の歴史的遺産である坂本龍馬脱藩の道を利用して、地域住民および関係団体や行政機関、学校が協働し、町のPRや地域の活性化につながることを目的として、平成23年度より開催しております。

【特別ゲスト】

今回は第10回の記念大会となることから、特別ゲストとしてゆすはら・未来大使である坂本雄次様

【参加者】

北は北海道から、南は沖縄県まで895名の方のエントリーをいただきました。当日は、792名の方が出走され、770名の方がみごと完走し、「脱藩」を果たされました。



坂本様、みやぞん様を囲んで(前夜祭)

4年ぶりの前夜祭では、梼原町婦人会の皆様の梼原町ならで

と、その坂本様のご紹介で、今をときめく、タレントのみやぞん様に参加いただきました。前夜祭や開会式にご参加いただき、スタートを務められました。スタートした後には、ランナーの皆さんやスタッフの皆さんを激励するため、各エイドなどを回っていました。坂本様、みやぞん様、ありがとうございました。

そして、特別ゲストのお2人に登場いただき、マラソンを走る際のコツなどを笑いを交えながらお話しいただきました。

最後には、参加者全員で集合写真を撮り、翌日に向けて意気込みを新たにしました。

【大会当日】

大会当日はあいにくの雨模様となってしましましたが、多くのランナーの皆さんに参加いただき、開会式を開催しました。

開会式は空岡則明実行委員長より開会宣言を、名誉大会長である吉田尚人町長より選手の皆さんへ歓迎のあいさつがありました。その後、高知県知事代理高知県文化スポーツ部スポーツ振興監三谷哲生様、梼原町が平成3年より友好交流協定を結んでおります兵庫県西宮市長の石井登史郎様、梼原町議会議長の土釜清様からご祝辞をいただきました。そして特別ゲストのお2人から激励の言葉をいただきました。また、記念大会の節目に

はのおもてなし料理でランナーの皆様をお迎えしました。

また、梼原高校ディスカバーラブの津野山神楽、チーム梼原のよきこい演舞が、会場を盛り上げました。



あたり、大会立ち上げ当初より中⼼的な役割を果たされております
西村義幸様（六丁）に感謝状を贈呈いたしました。

最後には、フルマラソンの部の最年少であり、高知県立梼原高等学校の卒業生で、野球部出身の田中飛悠吾様にランナー代表として選手宣誓をいただき、スタートしました。

ランナーの皆さんには、地域の方や各種団体の方、そして梼原の中高生からの声援に応えるように、雨の中を走っていました。

ゴールでは、梼原高校生が「おもてなし」としてオリジナルのメダルの配布や、リアルタイム映像の配信を行いました。

表彰式では、各部門3位以上の方に表彰状とメダルが授与されました。

また西宮市との友好交流を記念した友好都市特別賞は兵庫県西宮市から参加された田中裕章様、梼原町からは濱田壯平様が受賞されました。入賞・受賞された皆様、おめでとうございました。

【大会結果】

各部門の優勝者の方は次のとおりです。
(敬称略)

- フル18歳～49歳の部 男子 浜田 浩佑（大阪府）
- フル18歳～49歳の部 女子 佐竹 一美（高知市）
- フル50歳以上の部 男子 竹村 高幸（高知市）連続優勝
- フル50歳以上の部 女子 峯野由美子（徳島県）
- ハーフ18歳～49歳の部 男子 前田 涼（徳島県）
- ハーフ18歳～49歳の部 女子 村尾日向子（愛媛県）
- ハーフ50歳以上の部 男子 山本 平（土佐清水市）
- ハーフ50歳以上の部 女子 山崎竹丸（高知市）連続優勝
- ハーフ50歳以上の部 男子 明神美紀（高知市）
- ハーフ50歳以上の部 女子 林 杏奈（奈良県）
- 10km50歳以上の部 男子 次家洋明（愛媛県）
- 10km50歳以上の部 女子 林 由香（奈良県）



ランナーを応援する特別ゲストのお二人



友好都市特別賞を受賞された
濱田様

多くのボランティアの方の協力があつたからこそ本大会が開催できました。また、地域の皆さんからの温かいご声援をいただいたことで、大会が盛り上がり、選手の方の励みにもなりました。寒い中、長時間に



フルマラソンで
受賞された皆様

選挙管理委員会よりお知らせ

- 11月13日付けで、新たな委員が次とおり決まりましたのでお知らせします。
- | | |
|------------------|----------------------|
| 委 員 長 久保 栄八（太田戸） | 委 員 長 職務代理 中岡 倫（茶や谷） |
| 委 員 梶原 哲哉（下本村） | |

なお、平成20年11月から選挙管理委員会委員、その後委員長職務代理を経て、平成25年9月より10年間に渡り梼原町選挙管理委員会委員長としてご活躍いただきました坂本重男氏が11月11日に逝去されました。ここに故人を偲び謹んでお悔やみ申し上げます。

令和5年度『高陵消防連合演習』開催



10月29日午前9時から晴天の中、中土佐町高幡消防組合訓練場において、4年ぶりに高陵消防連合演習（須崎市、中土佐町、津野町、梼原町）が、団員ら約275名の参加により行われました。



高陵消防演習に出場した梼原消防団の皆さん

小型ポンプ操法、ポンプ車操法は令和6年6月に行われる高知県消防操法大会への出場権が懸っており、各団共に正確さとスピードを兼ね備えた動きでホースを延ばし、標的に放水し、日頃の練習で磨き上げた技を披露され、ハイレベルな戦いが繰り広げられました。



放水技術を競う様子

梼原消防団から総勢47名が参加し、教練の部、小型ポンプ操法の部に第2分団が、ポンプ車操法の部には第1分団が出場しました。

教練の部は、指揮者の号令に従い、団員22名が整列や行進を行い動作の機敏差や統一性を競いました。

● **ポンプ車操法の部**
(優勝団は県操法大会出場)
優勝 植原（第2分団）
準優勝 中土佐
第3位 津野

● **ポンプ操法の部**
(優勝団は県操法大会出場)
優勝 植原（第1分団）
準優勝 植原（第1分団）
第3位 津野

指揮者 団員	岩本 翔大
1番員 団員	中越 天駆野
2番員 班長	西村 大地
3番員 団員	神明 啓太
補助員 団員	長谷 部一平

● 教練の部

優勝 植原（第2分団）

準優勝 津野

第3位 中土佐

在阪梼原ふる里会会員募集

こんにちは。在阪梼原ふる里会の会長をしています隅田速雄です。ご存じの方もおられると思いますが、井の谷の出身で、昭和35年に関西圏に出てきて忙しく毎日を過ごしている間にもう60年が過ぎました。たまに梼原に帰つてお墓の掃除や近所に顔出しをしたりしていますが、梼原の澄んだ空気を吸うと気持ち良くて、やはりふる里はいいものだなあと改めて思います。

さて、今回は私たちの活動についてお話ししたいと思います。在阪梼原ふる里会は、大阪や西宮市等関西圏にお住いの梼原町出身者による会です。年1回総会を行い、出席者同士が情報交換をしたり、宴会ではカラオケを行ったりと、梼原を縁とした繋がりを大切に活動を続けています。最近では会員の高齢化も進み会員数も減少気味で、以前のような活動も難しくなってきましたが、同じふる里を持つ者同士今後も活動していく予定です。この記事をご覧の方で、私たちの活動にご興味を持たれる方が親類、知人の方においでましたら、是非ご連絡いただきたいと思います。

「口ナ禍で活動も難しくなつておりますが、令和6年1月28日(日)には4年振りに総会を開催する予定です。是非ご参加ください。

【問合せ】
まちづくり推進課 ☎ 65-1111

企業版ふるさと納税 ニッポン高度紙工業株式会社様から ご寄附をいただきました。

企業版ふるさと納税制度により、ニッポン高度紙工業株式会社様から寄附をいただき、10月11日に、同社本社（高知市）において感謝状贈呈式を行いました。心からお礼申し上げます。

ニッポン高度紙工業株式会社	寄附日	令和5年9月19日
寄附取組	脱炭素社会の実現を目指す事業	

ニッポン高度紙工業株式会社様は、1941年設立で高知県の伝統産業である土佐和紙を原点として誕生し、アルミニ解コンデンサ用セパレータをはじめとする製品の製造や新製品の開発に取り組み、世界中のあらゆる電子機器類で採用されています。

【問合せ】
まちづくり推進課 ☎ 65-1111

梼原町では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた事業へ貢献していただける企業の皆様をお待ちしております。



代表取締役社長 近森俊二氏
目録・感謝状贈呈式 10月11日



小学校訪問時の校長、先生方との記念撮影

企業版ふるさと納税とは、自治体が取り組む地方創生事業に、企業が寄附をとおして応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

今後もゆすはら町の魅力を引き続き積極的に発信し、町への訪問者を増やしていきたいと思います。

今後もゆすはら町の魅力を引き続き積極的に発信し、町への訪問者を増やしていきました。

9月25日～27日、台湾桃園市大溪区橋愛小学校の皆様が、ゆすはら町を訪れてくださいました。

遊友館で2泊滞在し、梼原学園との交流、植樹体験、セラピーロードの散策、そしてキジやジビエの食文化を体験しました。短い滞在でしたが、ゆすはら町の魅力を存分に感じて帰国されました。また、来年にも再訪の期待が高まりました。

台湾の小学生たちが ゆすはら町で林業・文化体験



観光協会だより

先日のNHKのクローズアップ名所」というテーマで放送があり、その中で「訪日外国人数伸び率トップ全国100」中ゆすはら町が全国20位(四国で1位)に選ばれました。今後も、「また来たいゆすはら町」を目指して頑張ってまいります。

9月の利用者数		
ガイドツアー		
人数 / 組数		
230人 / 21組		
宿泊者数		
1,202人 (前年比119%アップ)		

訪日外国人数伸び率 トップ100 (市町村別)			
1 北海道 当別町	70.6倍	51 愛媛県 美浜町	7.46
2 山形県 高畠町	64.0	52 山形県 最上町	7.45
3 茨城県 北茨城市	50.6	53 奈良県 広陵町	7.3
4 秋田県 能代市	30.5	54 鹿児島県 出水市	7.20
5 新潟県 見附市	28.3	55 埼玉県 美里町	7.16
6 山梨県 丹波山村	27.9	56 福岡県 豊前市	7.14
7 広島県 府中市	27.6	57 秋田県 由利本荘市	7.1
8 熊本県 あさぎり町	26.9	58 長野県 木祖村	6.6
9 山梨県 小菅村	26.8	59 長野県 川上村	6.1
20 高知県 棕原町			
17.3			
13 三重県 南伊勢町	25.142	63 三重県 紀北町	5.49
14 福島県 鮫川村	24.1	64 千葉県 白子町	5.45
15 山梨県 富士吉田市	22.4	65 三重県 川越町	5.3
16 秋田県 藤崎町	21.3	67 岩手県 奥州市	5.2
17 宮城県 本吉町	19.6	68 和歌山县 九度山町	5.1
18 海外道 道高崎市	18.3	69 京都府 井手町	4.949
19 広島県 安芸太田町	18.0	70 愛知県 設楽町	4.946
20 高知県 棕原町	17.3	71 福島県 富岡町	4.903
21 新潟県 阿賀野市	17.0	72 埼玉県 ときがわ町	4.8
L: 65.0			



9月21日、中学生の体験入学を行いました。参加中学生は、県外19名、県内54名で、保護者、教員を含め150名近くが来校しました。全体での学校説明のあと、各教室等に分かれて、授業体験、部活動体験、寄宿舎見学を実施し、中学生は、梼原での高校生活の一端を垣間見ました。梼高生も中学生に声をかけ、導いていました。

校内発表は、各ホームが屋台や縁日、アメリカンカフェを企画して軽食や飲み物を販売したり、農業コースが収穫した農産物を加工したり、PTAがバザーを開催したりしました。



文化祭

第39回梼原高校文化祭が、9月29日・30日に開催されました。2年ぶりの開催です。

約300名が文化祭に訪れました。



脱藩マラソンボランティア

10月8日に開催された第10回龍馬脱藩マラソン大会では、全校生徒がボランティアとして参加しました。

当日はあいにくの雨模様で寒い一日でしたが、生徒は大会を盛り上げようと、放送、表彰、エイドなど、さまざまな係に携わりました。

なかでも、各エイドや沿道・ゴール付近での声援、生徒会が企画したスナップ画像掲示、ゴールでの神楽の楽器演奏は、特にランナーに好評でした。

キャリア教育講演会

津野山地域中高一貫教育協議会主催のキャリア教育講演会を、10月11日に実施しました。

参加したのは、東津野中学校2年生、梼原学園7年生、そして

梼高生全員です。

講師は、いちのせかつみ氏。関西のテレビやラジオ等のメディアでも活躍されているファインシャル・プランナーです。演題は

「おもしろい人生のスマーリ笑う門には○○来たる」で、演題のとおり笑いとオチのある楽しい講演でした。面白いだけでなく、お金を通した人生設計や価値観をどのように考えるかなど、将来とててもためになる内容でした。





柿原こども園だより



おさるさんみたいに、木にぶらさがったよ!

木登りをしたり、木にぶら下がってみたり、山の斜面を滑り降りたりするなど、自然の中で思い切り遊んできた子ども達です。

10月11日に、ぞう組が矢崎の森へ行きました。矢崎の森をゆっくり歩いて散策しました。歩く途中、小川をのぞいて魚がないか見てみたり、ドングリや落ち葉などを拾つたりもしていました。山の秋の味覚“あけび”を中平さんが採つてくださり、子ども達は驚いて見ていました。見た後、少し味見してみる子もいました。

矢崎の森で、遊んできたよ



お山の傾斜を
ズリズリ滑って降りています!

また、10月24日には、きりん組も矢崎の森へ行きました。きりん組にとっては、初めて行く矢崎の森でしたが、みんな楽しかったようです。



高い木に
ぶらさがったよ!

いきいき交流(越知面)

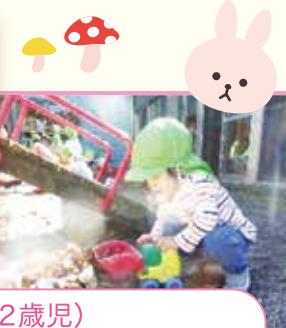
『肩たたき体操』の歌に合わせて、地域のおじいちゃん・おばあちゃんの肩に手をおき、保育者や友達と一緒に肩たきをして、触れ合う時間も持てました。



おじいちゃん、おばあちゃん
お肩をたたきますね~

10月12日に、越知面交流センターで開かれている越知面デイサービス友の会へ、なんだ組が参加してきました。地域のおじいちゃん・おばあちゃんの前で少し緊張している様子の子ども達でしたが、自己紹介や手遊びをしたり、踊りを踊ったりするのを見もらいました。

お外で遊ぶ、楽しいな♪



うさぎ組(2歳児)

お皿に盛った砂の上にドライフラワーを飾り付けたり、落ち葉をブルドーザーでくったりして遊んでいます

乳児組の子ども達も天気がいい日は、戸外に出て遊ぶことを楽しみにしています。園外に出かけ、どんぐりや松ぼっくりを拾つたり、広い場所を自由にのびのびと走つたりしています。また、園庭で砂遊びをしたり、車やブルドーザーの玩具を走らせたりするなど、一人ひとりがやりたい遊びを見つけ、楽しそうに遊んでいます。

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎ 0889-65-1900

壮麗かつ穏やかな音の重なり

5台のチェロが織りなすハーモニー



令和5年10月8日開催

これまで様々な音楽家の皆さんに雲の上の図書館で演奏していただきましたが、この度登場した「チーム幽弦」は世にも珍しいチェロ5重奏。耳馴染みのある童謡や映画音楽を取り上げ、豊かな低音と人間の声域に近い高音が持ち味であるチェロの特徴が十分に発揮できるアレンジで聴かせてくれました。建物の魅力と梼原の自然に触発された感動的な演奏が生まれ、多くの観客で埋め尽くされた交流広場は、曲が終わる度に大きな拍手で包まれました。

楽しいガイド本で新しい旅の形を

『四国八十八カ所ゆとりの旅』

著:実業之日本社

大きな文字で読みやすい札所ガイドに加え、境内散歩に役立つコメント入りの図案、寺の縁起や伝説にまつわるコラムなどを掲載した、巡拝の旅を楽しむための1冊。四国のあふれる旅情を伝える特集も収録。



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

12月の休館日（30、31は18時まで）
5、12、19、26、29

町民によるアート空間

貴重な作品を発表していただきました



日頃より音楽やダンス、演劇や造形など、様々なアート創造の場として活用していただいている雲の上の図書館。特集本棚を活用した「ゆすはらアートライブラリー」では、忙しい毎日の合間に少しづつ形作られる町民の皆様の作品を展示しています。今回はドールハウス(中越祥恵さん)とパッチワーク(内田美智子さん)の力作を展示させていただき、その出来栄えに驚きや賞賛の声が多数寄せられました。展示を希望される方は、スタッフまでご相談下さい。

高知県で育った作家が描く

『伝言』

著:中脇初枝

満州で暮らす高等女学校3年生のひろみは、学徒動員により「軍事機密」の作業に携わることになる。お国のために、自分の役割を精一杯果たしていく毎日だったが、終戦によってすべてが変わってしまい…。



1月の休館日（3は18時まで）
1、2、9、16、23、26、30

《世界人権宣言75周年》

12月4日から 10日までは 人権週間です

基本的人権及び自由を尊重し確保するため、世界の全ての人々と全ての国々とが達成すべき共通の基準として、昭和23年(1948年)12月10日の第3回国際連合総会において「世界人権宣言」が採択されました。

国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー(Human Rights Day)と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

のことから、法務省及び全国人権擁護委員連合会は、世界人権宣言採択の翌年の昭和24年(1949年)以来、関係機関等の協力を得て、

「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めてきたところです。

そこで、本年も、12月4日から同月10日までの1週間を「第75回人権週間」と定め、各種啓発活動を実施しようとするものです。

高知地方法務局及び高知県人権擁護委員連合会においても、今年度の人権週間行事のひとつとして、県内の主要箇所で「特設人権相談所」を開設し、DV、セクハラ、ストーカーなどの女性に関する人権問題や、児童虐待、いじめ、体罰など子どもに関する人権問題、高齢者や障害者に対する差別や虐待、その他くらしの悩みごと等、人権に関する御相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

お気軽に、最寄りの「相談窓口」を御利用ください。

※お問い合わせは、最寄りの法務局又は市町村の担当窓口又は人権擁護委員まで。

あなたの周りにも困っている方、 悲しんでいる方がいるかもしれません

11月25日から12月1日までの1週間は、「犯罪被害者週間」です。

あなたやあなたの大切な人も含め、誰もある日突然、犯罪に巻き込まれる可能性があります。犯罪被害者の方が置かれている状況について理解を深め、平穏な生活を取り戻せるよう、みんなで支え合う社会を実現していきましょう。みんなの理解が、犯罪被害者の方の支えとなります。



	相談窓口(機関名)	相談内容	相談時間	連絡先
犯罪被害全般	警察 警察総合相談窓口電話	警察への相談全般	24時間対応	088-823-9110 #9110
	警察 犯罪被害者ホットライン	犯罪被害相談全般	月～金 8時30分～17時15分 土・日・祝日・年末年始を除く	088-871-3110
	高知県 犯罪被害者等支援相談窓口	犯罪被害全般 支援機関の調整	月～金 9時～12時、13時～16時 土・日・祝日・年末年始を除く	088-823-9340 面接相談は要予約
	こうち被害者支援センター	犯罪被害者支援のための相談 付添い支援	月～金 10時～16時 土・日・祝日・年末年始を除く	088-854-7867 面接相談は要予約
性犯罪被害	警察 性犯罪被害相談電話	性犯罪被害に関する相談	24時間対応	#8103(ハートさん) (全国共通ダイヤル)
	性暴力被害者 サポートセンターこうち	性犯罪・性暴力被害に 関する相談	月～土 9時～17時 日・祝日・年末年始を除く ※上記時間外も他のセンターに自動転送 して24時間365日対応	080-9833-3500 0120-835-350 #8891(通話料無料)

皆さん「事業承継」の準備は進んでいますか？

事業承継の取組は、後継者の育成も含めると5年から10年かかると言われており、早期かつ計画的な取組が必要です。

経営者の皆さん 60歳を過ぎたら準備をはじめましょう。

まずは、**高知県事業承継・引継ぎ支援センター**やお取引金融機関、顧問税理士などにご相談ください。専門家のサポートを受けながら、補助金や融資制度等の支援制度を活用し、徐々に事業を引き継いでいくことをお勧めします。

高知県事業承継・引継ぎ支援センター

TEL: 088-802-6002

〒780-0870 高知市本町 4-1-32(こうち勤労センター4階)

公的な無料相談窓口です。
お気軽にお問い合わせ
ください。

高知県商工労働部経営支援課 事業承継・診断担当

TEL: 088-823-9697

✉: 150401@ken.pref.kochi.lg.jp



事業承継に関する
補助金や融資制度は
こちら

令和6年度 高知県公立学校臨時教員募集

高知県教育委員会が緊急かつ一時的に教員を必要とする場合に採用する公立学校臨時教員を募集します。

職種 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の臨時教員

教科・科目 全教科・科目並びに養護及び栄養

その他、応募できる人、提出書類等は教職員・福利科HPをご覧ください
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/>

令和6年4月初旬の採用を希望する場合は、令和5年10月19日(木)から令和6年1月31日(水)までの期間に必要書類を高知県教育委員会事務局へ提出してください。

【問合せ】高知県教育委員会事務局 TEL. 088-821-4903

JICA 海外協力隊募集

独立行政法人国際協力機構(JICA)は、開発途上国で現地の人々と同じ生活をしながら、ともに働き、国づくりに貢献するJICA海外協力隊を募集します。計画・行政・公共・公益企業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9の分野、約180種類の仕事が今必要とされています。あなたの技術・経験を開発途上国で活かしてみませんか?

募集期間

2023年11月1日(水)～12月11日(月)正午〆切

募集資格

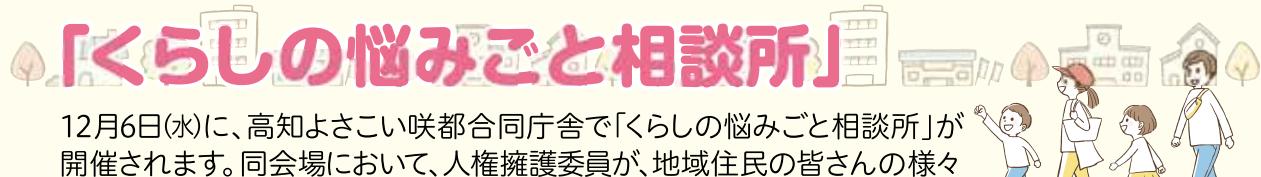
1953年12月13日～2004年8月2日までの日本国籍を持つ方

問合せ

JICA 海外協力隊募集事務局

☎ 045-410-8922 (平日10:00～12:00、13:00～19:00)

JICA四国 ☎ 087-821-8825 (平日9:30～17:30)



12月6日(水)に、高知よさこい咲都合同庁舎で「くらしの悩みごと相談所」が開催されます。同会場において、人権擁護委員が、地域住民の皆さんとの様々な悩みごとの相談をお受けいたします。皆様、お気軽にお越し下さい。



日 時 令和5年12月6日(水)

午前10時から午後0時

午後1時から午後4時まで
(相談受付は12月5日正午まで)

相談担当者 弁護士資格を有する人権擁護委員

相談内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DV等、家庭及び近隣関係等における法律・人権問題に関するあらゆる相談

会 場 高知よさこい咲都合同庁舎

8F相談室(高知市栄田町2丁目2-10)

そ の 他 事前予約制です。下記お問合せ先にてご予約ください。相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。

【問合せ】高知地方法務局人権擁護課 ☎ 088-822-3503

毎年11月30日は

「年金の日」です

11月30日(いいみらい)は、国民お一人おひとりに「ねんきんネット」等を活用して、ご自身の年金記録や公的年金の受給見込み額を確認していただき、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく「年金の日」となっています。

国民年金保険料を納めないまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。

保険料を納めるのが難しい場合は、申請することで、保険料の納付が免除、または猶予される制度があります。

くわしくは日本年金機構ホームページまたは 総務課住民係 ☎ 65-1111まで

「ねんきんネット」は年金記録や年金見込み額を確認できるサービスです。国民年金の加入月数や納付状況等の最新の記録をパソコンやスマートフォンから手軽に確認できます。

**【ねんきんネット】
QRコード**

詳しくはこちらから
https://www.nenkin.go.jp/n_net/



また、マイナンバーカードをお持ちの方であれば「マイナポータル」からログインすることで年金記録の確認ができます。

12月の行事予定

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 4日(月) 人権相談・行政相談(10:00~15:00) | 22日(金) 植原高校2学期終業式 |
| 9日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デイ | 25日(月) 植原学園2学期終業式 |
| 20日(水) 植原町交通安全の日 | 27日(水) 消防団年末警戒パトロール(30日まで) |

※令和5年度植原町行事カレンダーから変更・中止となった行事があります。※行事予定は変更となる可能性がありますが、ご了承ください。

12月の保健福祉課行事予定

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1日(金) 四万川宅老所 | 7日(木) 四万川宅老所 |
| 4日(月) 松原サテライトデイサービス
げらげら家族会 | 東区宅老「えくぼ」
越知面デイサービス友の会 |
| 6日(水) あゆみの会 | 13日(水) 愛育相談 |
| | 15日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| | 21日(木) 四万川宅老所 |



毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時~

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしています。

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)

川畠真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 18日(月)、19日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

【その他のご寄付】	
故正岡助一郎氏逝去に伴う香典返し(社会福祉へ)	久岡 昭雄様(富山県)
故久岡豊吉氏逝去に伴う香典返し(社会福祉へ)	上田 昇様(広野)
故上田富恵氏逝去に伴う香典返し(社会福祉へ)	高本 千里様(富山県)
大和 謙平様(東京都)	中井 義紀様(奈良県)
他匿名希望の方107名	中平 愛様(東京都)
	西内美智也様(神奈川県)
	田中 秀人様(滋賀県)
	赤堀真意子様(神奈川県)
	塩野 孝様(山形県)
	鈴木 孝夫様(茨城県)
	田邊 一也様(大阪府)

寄
付
の
お
礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。
町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】	
松本 君恵様(愛媛県)	小池 和幸様(愛媛県)

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
茶や谷	正岡助一郎	男	R5.10.1	86	本人
川西路	西村やよい	女	R5.10.30	67	西村政幸
横貝	山本 久子	女	R5.10.30	90	本人

●おめでた

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者
松原	いちかわ 市川 琴葉	ことは 女	R5.10.14	市川 凌汰

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています

柚子の木俳句会

文芸

うろこ雲かき分けて行くヘリコプター 西村 幸枝

とつてんかん相鎧かるく冬の鍛冶 影浦 鉄心

長竿であやつる舟や鮎下る 久岡 智子

小雨降る脱藩マラソン秋桜 西村 蓉子

螢草死者の色かも手に染むる 川田 早苗

落鮎の腹わたを抜く老婆かな 大崎みなど

アサギマダラふわりと抜ける幸橋 掛橋 初子

閃きの降りて来ぬかと夜長人 内野 純子

歯車の合わぬは敵とイノコヅチ 明神伊佐子

大好きと孫の便りや敬老日 氏原 陽子

目に涙句友を送る秋涼し 西村由利子

黄金の田畠で想うウクライナ 中平 忠雄

諸事情に居場所探しの稻雀 中越 郁子

秋暁のわれの腋下の電子音 渡辺 瑞枝

まづくらと秋の夜見上げはしゃぐ孫 吉田 敬子

寄する生帰する死とかや露の秋 中越 昌一

新涼のカルスト風車雲の上 広瀬 卓雄

編集後記

賃金は上がらないのに何もかもが高くなつて、今日日本中の人が悲鳴を上げています。毎日の暮らしの中では、卵やトイレストペーパーの安売りに目を光らせ、少しでも節約できるところは無いかと頭を使い、買い物は控え目になります。

そんな物価の日本ですが、海外からはどんどん観光に来て下さっています。榜原でも外国人観光客が増えています。泊まって、遊んで、食べて、お買い物をしてくださり、商売をしている者にとっては大変ありがたい。コロナが落ち着いてきたこともあるでしょうが、円安の影響も大きいのではないでしようか?何日間も休暇を取つての家族旅行。時には1ヶ月、2ヶ月。とても贅沢な旅行をされているようになります。私達には高くても、ドルから見れば安いのです。今、日本は安い!

4~5年前は1ドル300円だったのが、数年前には1ドル100円を切つたこともありました。海外旅行も安く思える時もあつたはずなのに、いつの間にどうしてこうなつたのでしょうか?明日の灯油の価格にハラハラする日本の暮らしは丈夫なのでしょうか?いずれ落ち着く日が来るのでしょうか?そんなことをブツブツと思いながらふと目をやると、田には刈り取つたお米が稻木に掛けられ、畑では青々とした白菜や大根の葉がみずみずしく、隣近所から採れた里芋やサツマイモが届けられ、橋原では去年と変わらない、いつもと変りない暮らしがありました。



湯浅隆さん（左）と吉田剛士さん（右）

梼原未来大使「マリオネット」コンサート開催

10月10日ゆすはら座にて、ゆすはら未来大使「マリオネット」によるコンサートが開催され、遠くは福井県からお越しの方もおり、約70名の観客はポルトガルギターとマンドリンの音色に聞き入っていました。

コンサートでは、久保谷セラピーロードイメージ曲『せせらぎの小道』をはじめ、麦焼酎『二階堂』のテレビコマーシャルに採用されていた曲など心に沁みる演奏が繰り広げられ、トーク

も含めた約2時間のコンサートは、あつという間の時間でした。

『セラピーロードイメージ曲の『せせらぎの小道』は、自分たちの曲の中でも人気の高い曲。色々なところで演奏する機会があり演奏後は、会場の空気が澄み渡り、お客さんも落ち着いた雰囲気になります」とお2人は語つてくれていました。

同じ楽器でも、弾き方により音色が大きく変わります。コロナによる自粛生活で外出も自由に出来なかつた3年間でしたが、今回のコンサートで聴く樂器の音色に、知らない土地や風景の中を旅しているような感覚に浸ることができた楽しい時間となりました。



【問合せ】
まちづくり推進課 65-1111



スタッフポロシャツが来場者の目を引いていました

10月14日・15日の2日間、高知市のひろめ市場南広場で梼原町の特産品をPRする「ゆすはらフェア」を開催しました。



梼原から持ってきた商品が完売!

新型コロナウイルス感染症の対策基準が5類になつたことで、ひろめ市場への来場者も多く、たくさんの方にブースへ寄つていただきました。新鮮な野菜やパン・スイーツ、地域食材を使った加工品など、梼原町特産の品物を来場の方は楽しそうに選んでいました。

売れ行きは好調で、2日目の最後は、売り切れになる商品が続出しました。

2日間を通して、梼原町の特産品を始め、梼原町の魅力や移住支援など県内外の方へ認知度を高める情報発信ができました。この取り組みをきっかけに梼原町を応援してくださる方が増えることを期待しています。

集落活動センターゆすはら連絡協議会
まちづくり推進課